

Logomark and Logotype

GUIDELINE



Logo Story

Basics

BC SHORT のブランドアイデンティティの中核的な役割を果たすロゴマークとロゴタイプは使用方法がそれぞれ明確に異なります。ブランドイメージを確立するために適切な方法に従って使用してください。

ロゴの作意



B + ≡

BC SHORT の頭文字の「B」とショートスキーを合わせたシンボルをロゴマーク及びロゴタイプに組み込んでいます。スキー板を右上に上げることで、前進、スピード感、登っていることを表現しています。

ロゴタイプ

BC SHORT®
Back Country Short Ski Mountaineering

ロゴタイプは BC SHORT のブランドイメージの象徴として、製品やパッケージから、商品広告や POP などのあらゆる販売促進活動に使用します。

ロゴマーク



ロゴマークは配置することでより効果的にブランドイメージを伝えられる場合に使用します。

Logo Variation

ロゴマークとロゴタイプの組み合わせは4種類あります。媒体・環境に合わせ、最適な組み合わせを選定して使用してください。優先されるバリエーションについては次項（Primary Usage）を参照してください。

基本のロゴ



ピンクの囲みも含めたロゴが基本となります。

バリエーション 1



バリエーション 2



バリエーション 3



基本ロゴの視認性が悪い場合は、定められた色（ピンク・黒）で囲みを除いたタイプロゴを使用します。

Primary Usage

原則として基本のロゴタイプを優先的に使用してください。ただし、掲載する媒体のスペースに制限がある場合や効果的にロゴタイプが表示できない場合は、右の表を参考に最適なロゴバリエーションを選定してください。

Standard

最も主體的に訴求するロゴ。
ロゴタイプの視認性を確保しながら優先的に使用する。

優先度



Variation 1

Standard で表示する事では訴求効果が十分に得られない場合に使用する。



Variation 2

限られたスペースへの表示や情報の量が多く Standard で表示する事で訴求効果が十分に得られない場合に使用する。



Variation 3

特に限られたスペースや競合との並列表示の際など強くブランドネームを主張する必要がある場合にのみ使用する。



ロゴタイプ主体

ロゴマーク主体

Minimum Size

最小使用サイズとは、最低限の視認性を確保することができるサイズを示します。最小使用サイズ未満で表示するとつづれ等により正しく表現できないので、原則として最小使用サイズ未満では使用しないでください。

Standard



Variation 1



Variation 2



Variation 3



Color System

ロゴタイプの表示色は原則としてピンクを使用します。右の表に無い塗料等で制作しなければならない場合は、可能な限り近似色で再現してください。



Print Colors

CMYK	C 0 / M 100 / Y 0 / K 0
DIC	113
PANTONE	Rhodamine Red C

Display Colors

RGB	R 228 / G 0 / B 127
Hexadecimal	e4007f

Clear Space

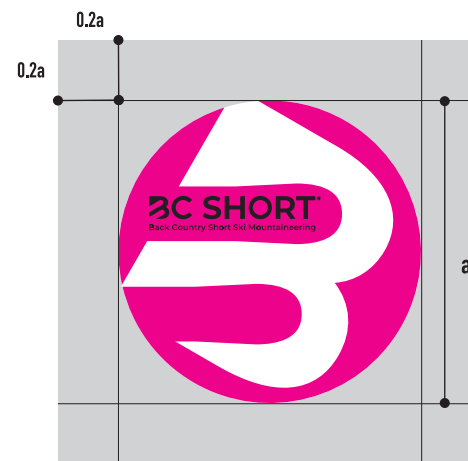
ロゴマークの適切な配置と保護は的確なブランドイメージを伝えるために特に重要なポイントとなります。そのため、ロゴマーク、ロゴタイプ以外の要素を配置できないクリアスペースを設けています。原則としてこのクリアスペースを担保し、レイアウトしてください。

Standard



■ クリアスペース

Variation 1



■ クリアスペース

Variation 2



■ クリアスペース

Variation 3



■ クリアスペース

Misuse

右に示したような使用例は、ロゴタイプの独自性を損なうと同時に、見る人に誤ったブランドイメージを与えてしまうため使用を禁止しています。

また、ロゴタイプやコンビネーションロゴについてもロゴマークと同様、右記のような表現は使用しないでください。



回転しない。



指定色以外で
使用しない。



上下左右に
変形をしない。



他のデザインと
組み合わせない。



余白部分の
比率を変えない。



不適切な解像度で
使用しない。



形を変えない。



トリミングして
表示しない。

Logomark and Logo type

Other

例外として、企画やキャンペーンなどにより、ブランド側が限定的に使用するロゴもあります。

